

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	Ⅲ-1	指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)		
					財政健全化等	×	収入総額	支出総額			実質収支比率	経常収支比率				
市町村名	筑紫野市		地方交付税種地	1-4	財源超過	×	収入総額	32,997,499	33,413,426	実質収支比率	3.5	3.4				
					首都	×	収入総額	32,160,840	32,066,045	経常収支比率	87.8	86.8				
					近畿	×	財源超過	836,659	1,347,381	(※1)	(96.0)	(96.2)				
					中部	×	首都	180,198	706,622	標準財政規模	18,741,942	18,749,643				
人口	22年国調(人)		100,172		産業構造(※5)	近畿	×	収入総額	180,198	706,622	標準財政規模	18,741,942	18,749,643			
	17年国調(人)		97,571			中部	×	実質収支	656,461	640,759	財政力指数	0.74	0.73			
	増減率(%)		2.7			過疎	×	単年度収支	15,702	-209,425	公債費負担比率	16.0	19.7			
住民基本台帳人口	27.01.01(人)		102,421		区分	山振	×	収入総額	467	1,677	健全化判断比率					
	うち日本人(人)		101,885			22年国調	611	714	収入総額	32,160,840	32,066,045	実質赤字比率				
	26.01.01(人)		102,228			17年国調	1.4	1.6	収入総額	180,198	706,622	連結実質赤字比率				
	うち日本人(人)		101,681			第1次	7,429	8,013	収入総額	180,198	706,622	実質公債費比率	9.4	11.3		
	増減率(%)		0.2			第2次	17.1	18.1	収入総額	656,461	640,759	将来負担比率	12.4	19.8		
	うち日本人(%)		0.2			第3次	35,361	34,449	収入総額	15,702	-209,425	資金不足比率(※4)				
面積(km ²)	87.73					81.5	77.8	収入総額	467	1,677	健全化判断比率					
人口密度(人/km ²)	1,142							収入総額	467	1,677	健全化判断比率					
世帯数(世帯)	37,703							収入総額	467	1,677	健全化判断比率					
職員の状況																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	28,767,396	29,411,394	うち公的資金	25,760,458	25,634,827		
	市区町村長	1	9,200		一般職員	418	1,243,968	2,976	債務負担行為額(支出予定額)	7,939,544	9,375,520	収益事業収入	-	-		
	副市区町村長	1	7,550		うち消防職員	-	-	-	土地開発基金現在高	533,068	533,063	財政調整基金	2,854,296	2,853,829		
	教育長	1	6,800		うち技能労務職員	11	42,933	3,903	積立金現在高	448,646	434,864	減債基金	448,646	434,864		
	議会議長	1	5,400		教育公務員	5	16,985	3,397	その他特定目的基金	4,708,295	4,402,771					
	議会副議長	1	4,800		臨時職員	-	-	-								
	議会議員	20	4,500		合計	423	1,260,953	2,981								
						ラสบayレス指数			101.3							
	一般会計等の一覧															
	項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		
(1)	一般会計	(5)	国民健康保険事業特別会計	(8)	水道事業会計	(10)	農業集落排水事業特別会計	(11)	筑紫野・小郡・基山清掃施設組合(一般会計)	(21)	筑紫野市土地開発公社	○	(※3)			
(2)	住宅新築資金等貸付事業特別会計	(6)	介護保険事業特別会計	(9)	下水道事業会計			(12)	両筑衛生施設組合(一般会計)	(22)	筑紫野市文化振興財団					
(3)	奨学資金貸与事業特別会計	(7)	後期高齢者医療事業特別会計					(13)	筑紫苑施設組合(一般会計)							
(4)	土地取得事業特別会計							(14)	山神水道企業団(水道用水供給事業会計)							
								(15)	福岡地区水道企業団(水道用水供給事業会計)							
								(16)	筑紫野大宰府消防組合(一般会計)							
								(17)	筑紫自治振興組合(一般会計)							
								(18)	筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)							
								(19)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)							
								(20)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)							

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	13,151,436	39.9	12,279,722	70.4	普通税	12,274,555	93.3	185,049	
地方譲与税	233,656	0.7	233,656	1.3	法定普通税	12,274,555	93.3	185,049	
利子割交付金	29,170	0.1	29,170	0.2	市町村民税	6,215,185	47.3	185,049	
配当割交付金	92,549	0.3	92,549	0.5	個人均等割	160,980	1.2	-	
株式等譲渡所得割交付金	51,579	0.2	51,579	0.3	所得割	4,923,328	37.4	-	
地方消費税交付金	1,042,683	3.2	1,042,683	6.0	法人均等割	283,831	2.2	46,901	
ゴルフ場利用税交付金	52,160	0.2	52,160	0.3	法人税割	847,046	6.4	138,148	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	5,287,233	40.2	-	
自動車取得税交付金	36,952	0.1	36,952	0.2	うち純固定資産税	5,276,760	40.1	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	149,840	1.1	-	
地方特例交付金	64,393	0.2	64,393	0.4	市町村たばこ税	622,297	4.7	-	
地方交付税	3,902,292	11.8	3,491,802	20.0	釧産税	-	-	-	
普通交付税	3,491,802	10.6	3,491,802	20.0	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	410,487	1.2	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	3	0.0	-	-	目的税	876,881	6.7	-	
(一般財源計)	18,656,870	56.5	17,374,666	99.5	法定目的税	876,881	6.7	-	
交通安全対策特別交付金	20,021	0.1	20,021	0.1	入湯税	5,167	0.0	-	
分担金・負担金	502,153	1.5	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	389,122	1.2	43,172	0.2	都市計画税	871,714	6.6	-	
手数料	314,429	1.0	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	5,365,979	16.3	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	1,489	0.0	1,489	0.0	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	2,051,704	6.2	-	-	合計	13,151,436	100.0	185,049	
財産収入	132,945	0.4	14,193	0.1					
寄附金	33,593	0.1	-	-					
繰入金	260,832	0.8	-	-					
繰越金	1,347,381	4.1	-	-					
諸収入	1,514,950	4.6	-	-					
地方債	2,406,031	7.3	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	1,625,031	4.9	-	-					
歳入合計	32,997,499	100.0	17,453,541	100.0					

区分		平成26年度	平成25年度
徴収率	現・計	98.5	91.5
(%)	年	98.5	91.9
	市町村民税	98.4	90.4
	純固定資産税	98.4	90.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,624,189	実質収支	202,541
下水道	901,847	再差引収支	-116,773
上水道	77,749	加入世帯数(世帯)	13,155
工業用水道	-	被保険者数(人)	22,450
交通	-	被保険者	85
国民健康保険	763,916	1人当り	103
その他	1,880,677	保険料(料)収入額	300
		国庫支出金	103
		保険給付費	300

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳入の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳入の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	292,288	0.9	-	292,288	
総務費	2,930,675	9.1	62,489	2,591,254	
民生費	12,909,444	40.1	245,182	5,631,920	
衛生費	2,735,601	8.5	43,297	2,312,927	
労働費	282,521	0.9	-	130,051	
農林水産業費	431,286	1.3	46,323	343,990	
商工費	428,381	1.3	28,628	131,373	
土木費	3,429,759	10.7	2,163,210	1,962,232	
消防費	1,838,664	5.7	834,396	1,001,297	
教育費	3,347,706	10.4	1,185,018	2,663,390	
災害復旧費	65,537	0.2	-	30,555	
公債費	3,468,978	10.8	-	3,411,673	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	32,160,840	100.0	4,608,543	20,502,950	

性質別歳入の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	15,856,457	49.3	9,077,277	9,060,063	47.5
人件費	4,001,227	12.4	3,488,568	3,472,935	18.2
うち職員給	2,346,034	7.3	1,903,856	-	-
扶助費	8,386,252	26.1	2,177,036	2,175,455	11.4
公債費	3,468,978	10.8	3,411,673	3,411,673	17.9
元利償還金	3,468,587	10.8	3,411,282	3,411,282	17.9
内 うち元金	3,050,029	9.5	2,993,968	2,993,968	15.7
訳 うち利子	418,558	1.3	417,314	417,314	2.2
一時借入金利子	391	0.0	391	391	0.0
その他の経費	11,630,303	36.2	9,871,098	7,694,146	40.3
物件費	3,890,706	12.1	3,155,359	2,917,755	15.3
維持補修費	125,541	0.4	117,798	117,798	0.6
補助費等	3,845,566	12.0	3,574,561	2,581,529	13.5
うち一部事務組合負担金	1,924,630	6.0	1,924,630	1,353,935	7.1
繰入金	2,825,149	8.8	2,414,858	2,077,064	10.9
積立金	573,389	1.8	565,294	-	-
投資・出資金・貸付金	369,952	1.2	43,228	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,674,080	14.5	1,554,575	-	-
うち人件費	119,831	0.4	39,855	-	-
内 普通建設事業費	4,608,543	14.3	1,524,020	-	-
うち補助	1,260,331	3.9	194,997	-	-
うち単独	3,348,212	10.4	1,329,023	-	-
災害復旧事業費	65,537	0.2	30,555	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	32,160,840	100.0	20,502,950	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成26年度 福岡県筑紫野市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	32,974	32,142	831	651	261	28,597	
2 住宅新築資金等貸付事業特別会計	25	20	5	5	-	21	
3 奨学資金貸与事業特別会計	5	5	-	-	2	-	
4 土地取得事業特別会計	286	286	-	-	286	149	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							

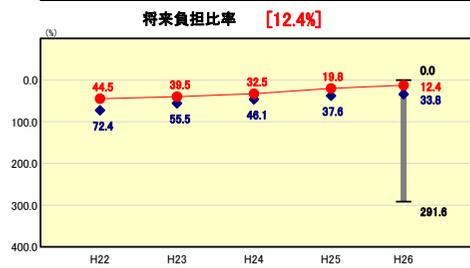
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	102,421	人(H27.1.1現在)			
うち日本人	101,885	人(H27.1.1現在)			
面積	87.73	km ²			
歳入総額	32,997,499	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	32,160,840	千円	連結実質赤字比率	-	%
実質収支	656,461	千円	実質公債費比率	9.4	%
標準財政規模	18,741,942	千円	将来負担比率	12.4	%
地方債現在高	28,767,396	千円	市町村類型	H22 II-3 H23 III-1 H24 III-1	
			(年度毎)	H25 III-1 H26 III-1	



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

将来負担の状況

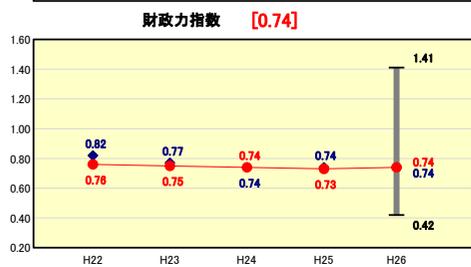


類似団体内順位 32/87 全国平均 45.8 福岡県平均 64.4

将来負担比率の分析欄

将来負担比率は、地方債現在高が減少したことや基金残高が増加したことなどから、前年度に比べて7.4ポイント改善し、類似団体と比較して21.4ポイント下回っている。
 財政計画(平成23年度～27年度)において、5年間の地方債現在高を普通会計で43億円以上減少させることを目標としており、今後も財政の健全化に努めていく。

財政力

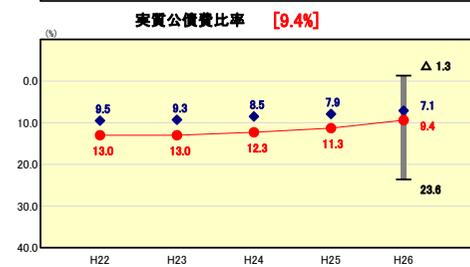


類似団体内順位 40/87 全国平均 0.49 福岡県平均 0.50

財政力指数の分析欄

財政力指数は平成22年度から微減していたが、平成26年度においては0.01ポイント改善した。
 主要因としては、税収の増等により基準財政需要額の伸びよりも基準財政収入額の伸びの方が大きいことが挙げられる。
 27年度においては現在の水準を維持するために、今後とも歳出の見直しと徴収率の向上等の税収の確保に努めていく。

公債費負担の状況

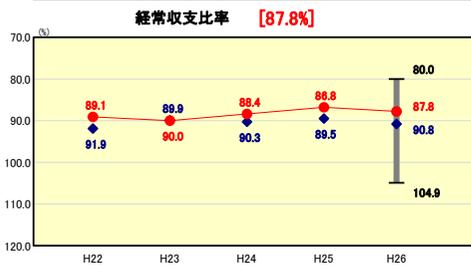


類似団体内順位 60/87 全国平均 6.0 福岡県平均 9.8

実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率は、平成8年度～13年度に行った大型建設事業に伴う公債費負担や、一部事務組合の起こした地方債に関する負担額が大きなものとなっているため、類似団体と比較すると2.3ポイント上回っている。
 本市前年度比較では、平成23年度、平成25年度に実施した繰上償還により元利償還金が減少したため1.9ポイント改善したが、今後も財政計画(平成23年度～27年度)において、5年間の臨時財政対策債を除く市債発行総を抑制するなど、実質公債費比率を15%以内にするを目標として財政運営を行っていく。

財政構造の弾力性



類似団体内順位 21/87 全国平均 91.3 福岡県平均 93.3

経常収支比率の分析欄

経常収支比率は、類似団体平均と比較すると3ポイント下回っている。
 また、本市前年度比較では主に物件費や扶助費、繰入金の増により前年度比で1ポイント上回った。
 歳出については公債費以外で増加しており、臨時財政対策債を除いた経常収支比率は依然90%以上となっている。今後も引き続き経常経費の見直しを進めていく。

定員管理の状況

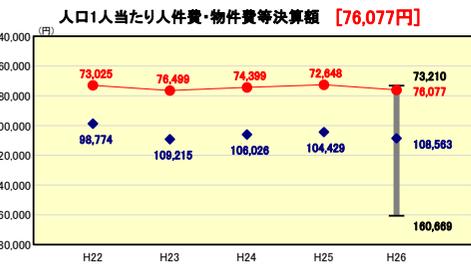


類似団体内順位 1/87 全国平均 6.96 福岡県平均 5.79

人口千人当たり職員数の分析欄

人口千人当たりの職員数は、類似団体平均が6.38人のところ、本市4.13人と2.25人下回り、類似団体内順位1位である。
 今後も年齢構成の是正を図るとともに、再任用制度の活用を含めた定員管理を行っていく。

人件費・物件費等の状況

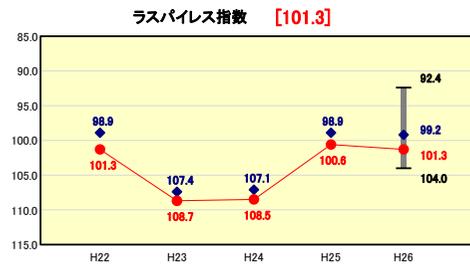


類似団体内順位 3/87 全国平均 119,984 福岡県平均 109,265

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人口1人当たりの人件費・物件費等の決算額は類似団体の3番目に少なく、これは人口千人当たりの職員数が4.13人と、類似団体平均と比較して2.25人下回っているため人件費が低く抑えられていることが主要因であると考えられる。今後も、引き続き経常経費の見直しを進めていく。

給与水準(国との比較)



類似団体内順位 76/87 全国市平均 98.7 全国町村平均 95.8

ラスパイルズ指数の分析欄

ラスパイルズ指数は、類似団体平均を2.1ポイント上回っている。
 本市前年度比較では、主に高卒及び短大卒20年以上の職員の階層変動により、0.7ポイント上昇した。
 今後は人事評価制度等の活用を図りながら適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

福岡県筑紫野市

経常収支比率の分析

人口	102,421人	(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	101,885人	(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	87.73km ²		実質公債費比率	9.4%
歳入総額	32,997,499千円		将来負担比率	12.4%
歳出総額	32,160,840千円		市町村類型	H22 II-3 H23 III-1 H24 III-1
実質収支	836,659千円		(年度毎)	H25 III-1 H26 III-1
標準財政規模	18,741,942千円			

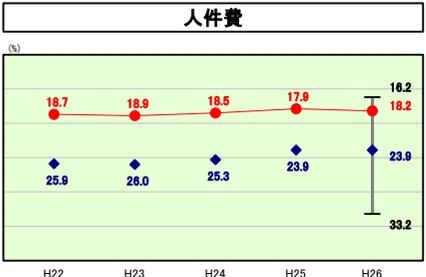


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



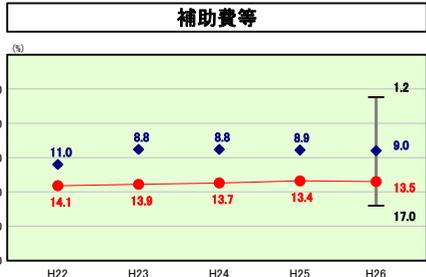
物件費の分析欄

本市前年度比較では、予防接種業務委託料やごみ収集委託料、電気料・ガス代などが増加したことなどから、物件費に係る経常収支比率は前年度比1.0ポイント上回った。類似団体平均は15.7%のところ、本市15.3%と0.4ポイント下回っていることから、一定の効率化は図られていると考えられるが、今後も見直しを進めていく。



人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は、類似団体平均23.9%のところ、本市18.2%と5.7ポイント下回っている。これは、人口千人当たり職員数が4.13人と類似団体平均と比較して、2.25人下回っていることや、職員の退職に伴い平均年齢が低下していることが主な要因であると考えられる。今後も適正な定員管理を継続し、人件費の抑制に努めていく。



補助費等の分析欄

補助費等にかかる経常収支比率は類似団体平均9.0%に対し、本市13.5%と4.5ポイント上回っている。これは、ごみ処理事業や消防事業を一部事務組合で行っており、その負担金が大きいためと考えられる。今後は一部事務組合に対しても経費の見直しを求め、負担金の抑制を図りたい。



扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は類似団体平均11.5%に対し、本市は11.4%と0.1ポイント下回っている。また、本市前年度比較では障害福祉サービスに係る給付や生活保護費の増加などにより、前年度比で0.6ポイント上回った。依然として、地方では厳しい経済情勢が続く中で、今後も扶助費の増加は見込まれるため、経常経費全体の見直しを進めていく。



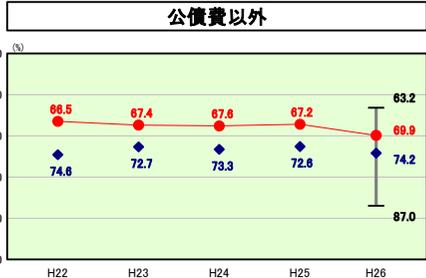
その他の分析欄

その他(維持補修費、繰出金)に係る経常収支比率は、類似団体平均14.1%のところ、本市11.5%と2.6ポイント下回っている。維持補修費については今後も施設等の維持管理を適切に行い、繰出金についても今後とも適切な執行に努めていく。



公債費の分析欄

これまで市債発行の抑制と計画的な償還に努めてきた結果、公債費に係る経常収支比率はここ5年間における類似団体平均比較では22年度より上回りの幅は減少しており、本市の比率も低下傾向にある。今後も財政計画(平成23年度～27年度)において、市債発行の抑制に努めていく。



公債費以外の分析欄

公債費以外に係る経常収支比率は、類似団体平均74.2%のところ、本市69.9%と4.3ポイント下回っている。事務事業評価による事業の見直しや財政計画(平成23年度～27年度)に基づき、各費目経常経費の見直しを進め、経常収支比率の抑制に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

福岡県筑紫野市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4,001,227	39,066	58,961	▲ 33.7
賃金(物件費)	294,076	2,871	3,996	▲ 28.2
一部事務組合負担金(補助費等)	499,670	4,879	3,773	29.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	15,211	149	594	▲ 74.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	198,868	1,942	2,438	▲ 20.3
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	119,831	1,170	1,435	▲ 18.5
▲退職金	▲ 345,407	▲ 3,372	▲ 6,041	▲ 44.2
合計	4,783,476	46,704	65,157	▲ 28.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	4.13	6.38	▲ 2.25
ラスパイレス指数	101.3	99.2	2.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

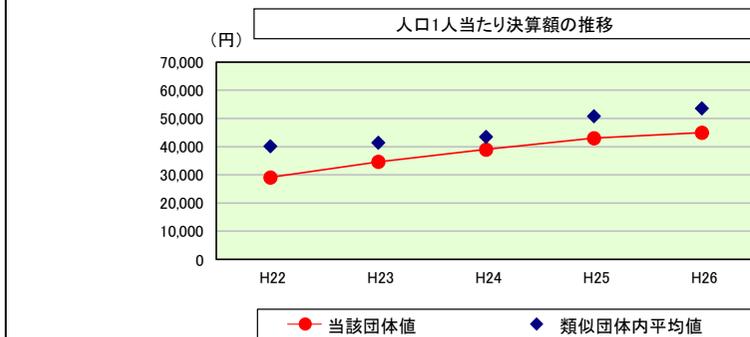


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	3,468,587	33,866	38,103	▲ 11.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	-	-	32	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	743,032	7,255	9,772	▲ 25.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	198	2	1,367	▲ 99.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	499,743	4,879	888	449.4
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 526,981	▲ 5,145	▲ 6,931	▲ 25.8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,010,221	▲ 29,391	▲ 31,548	▲ 6.8
合計	1,174,358	11,466	11,686	▲ 1.9

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

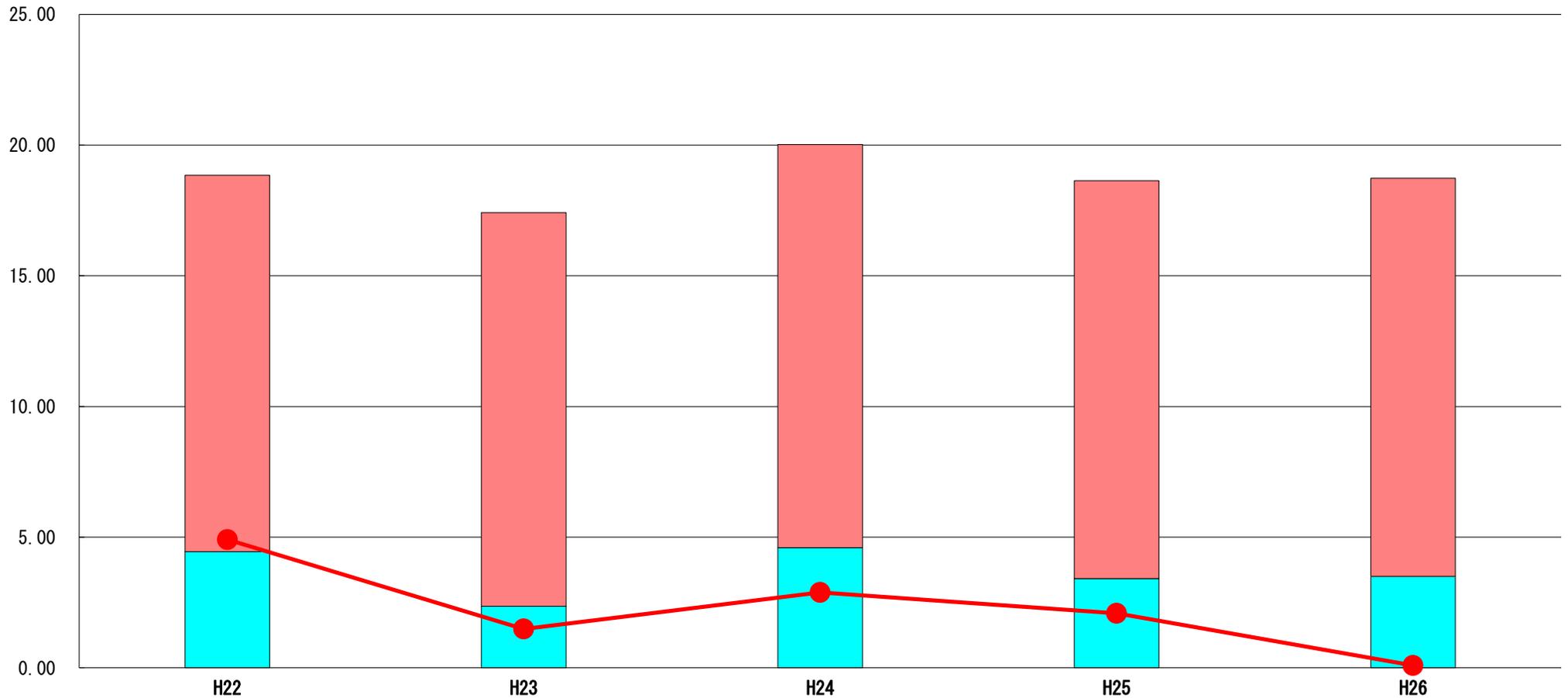
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H22	2,926,821	29,122	▲ 8.5	40,203	4.3	▲ 12.8
うち単独分	2,059,154	20,489	13.2	23,352	▲ 3.6	16.8
H23	3,501,066	34,640	18.9	41,433	▲ 3.1	15.8
うち単独分	2,185,829	21,627	5.6	22,351	▲ 4.3	9.9
H24	3,980,994	38,992	12.6	43,493	5.0	7.6
うち単独分	1,925,591	18,860	▲ 12.8	23,254	4.0	▲ 16.8
H25	4,401,675	43,057	10.4	50,840	16.9	▲ 6.5
うち単独分	2,660,814	26,028	38.0	25,367	9.1	28.9
H26	4,608,543	44,996	4.5	53,605	5.4	▲ 0.9
うち単独分	3,348,212	32,691	25.6	28,343	11.7	13.9
過去5年間平均	3,883,820	38,161	7.6	45,915	6.9	0.7
うち単独分	2,435,920	23,939	13.9	24,533	3.4	10.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

福岡県筑紫野市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
 財政調整基金残高		14.40	15.06	15.42	15.22	15.23
 実質収支額		4.45	2.36	4.60	3.42	3.50
 実質単年度収支		4.91	1.49	2.89	2.09	0.09

分析欄

財政調整基金残高は微増、実質収支額は概ね同規模で推移しており、黒字額が多すぎることはないよう収支のバランスを図っている。

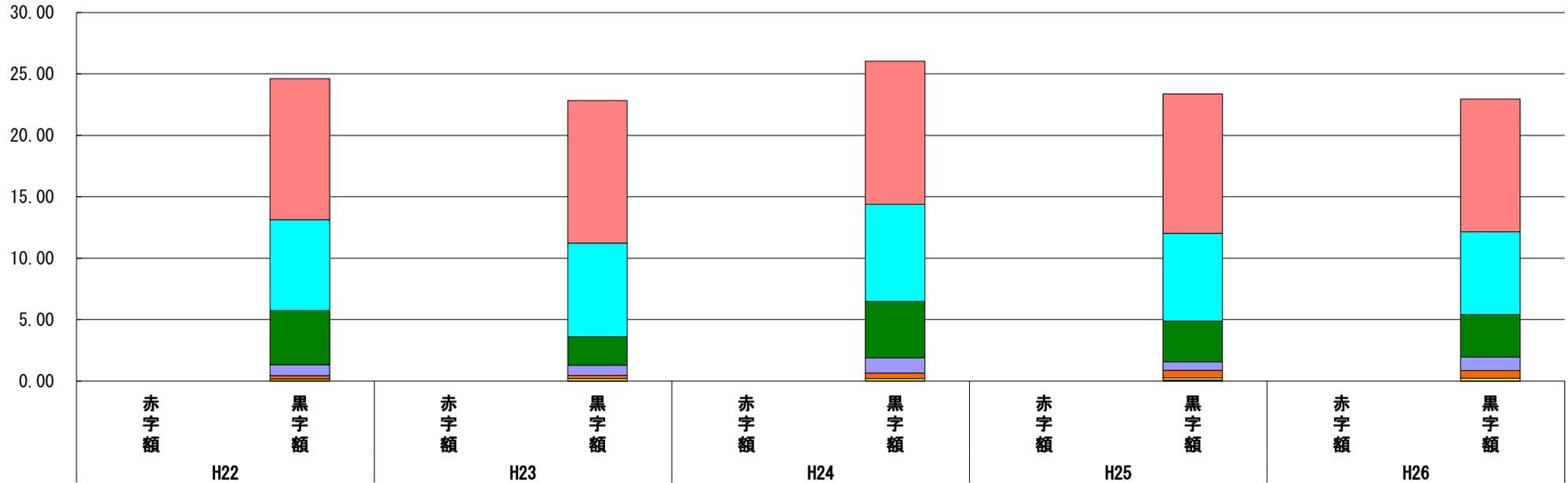
実質単年度収支は22年度以降プラスで推移しているが、人口増加については鈍化しており、税収の大幅な伸びも期待されないことから、今後も財政計画（平成23年度～27年度）に基づいて財政運営を行っていく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

福岡県筑紫野市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
水道事業会計		11.50	11.60	11.64	11.35	10.80
下水道事業会計		7.39	7.63	7.92	7.14	6.74
一般会計		4.41	2.32	4.59	3.33	3.47
国民健康保険事業特別会計		0.89	0.81	1.25	0.68	1.08
介護保険事業特別会計		0.26	0.28	0.44	0.61	0.62
後期高齢者医療事業特別会計		0.14	0.17	0.20	0.19	0.22
住宅新築資金等貸付事業特別会計		0.04	0.02	0.00	0.07	0.02
奨学資金貸与事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

公営企業会計を含む全会計において、赤字及び資金不足となっている会計はなく、連結実質赤字額はない。

各会計の黒字額及び資金剰余額については、年度によって多少の増減はあるものの、概ね同規模で推移しているといえる。黒字額及び資金剰余額が多すぎることを防ぐよう収支のバランスを図りながら、今後とも赤字及び資金不足が発生しないような財政運営、企業経営を行っていく。

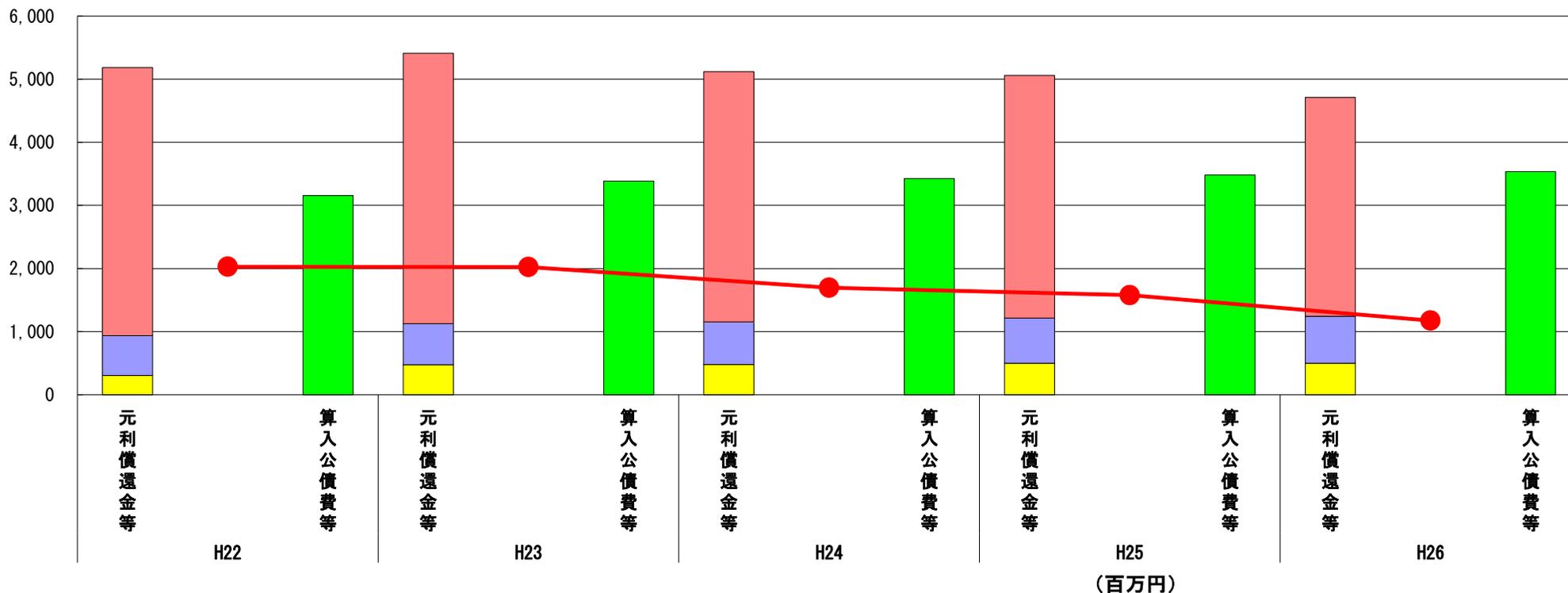
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

福岡県筑紫野市

(百万円)



分子の構造		年度				
		H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等(A)	元利償還金	4,248	4,281	3,967	3,844	3,469
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	633	653	673	717	743
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	1	1	1	0	0
	債務負担行為に基づく支出額	304	474	480	500	500
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	3,157	3,385	3,425	3,484	3,536
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	2,029	2,024	1,696	1,577	1,176

分析欄

実質公債費比率は、平成23年度、平成25年度に実施した繰上償還により元利償還金が減少したため、前年度から1.9ポイント改善し、9.4である。

財政計画（平成23年度～27年度）において、5年間の臨時財政対策債を除く市債発行総額を抑制するなど、実質公債費比率を15%以内にすることを目標として財政運営を行っていく。

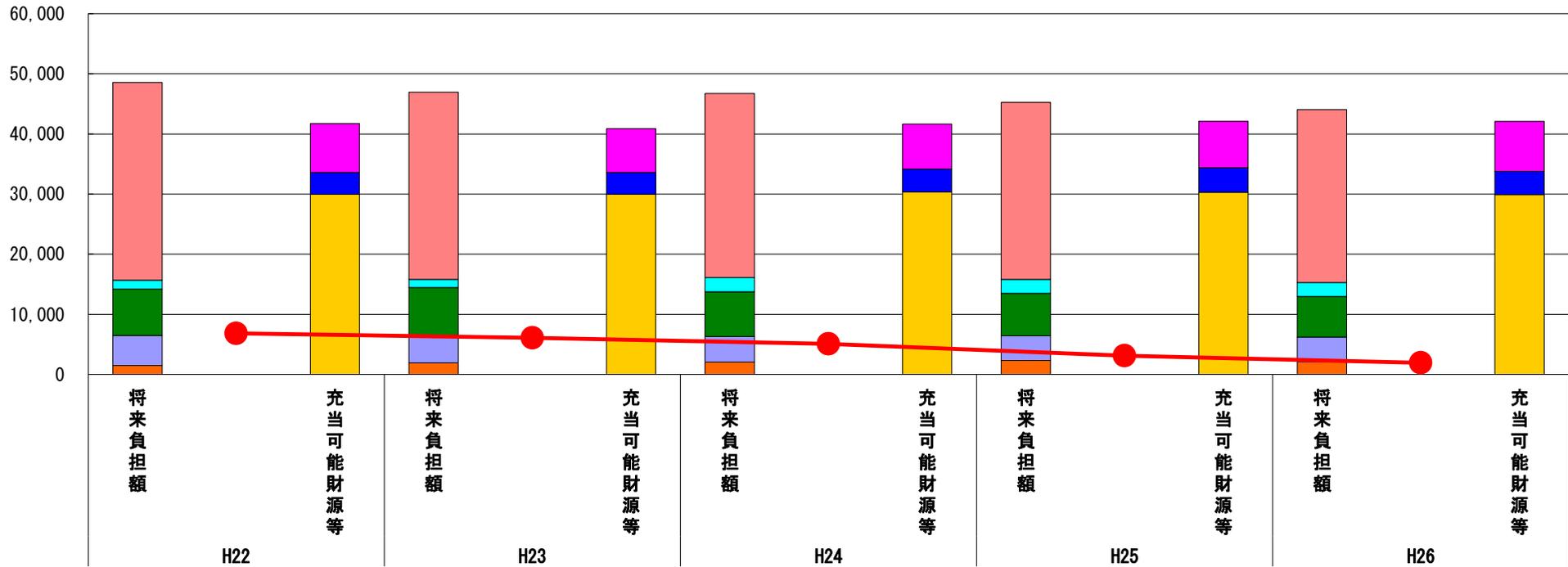
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

福岡県筑紫野市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		32,885	31,134	30,612	29,411	28,767
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,477	1,352	2,350	2,333	2,312
	公営企業債等繰入見込額		7,686	7,918	7,450	7,052	6,752
	組合等負担等見込額		5,025	4,618	4,235	4,106	4,116
	退職手当負担見込額		1,479	1,933	2,080	2,330	2,104
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		8,123	7,262	7,462	7,737	8,330
	充当可能特定歳入		3,664	3,618	3,841	4,059	3,839
	基準財政需要額算入見込額		29,937	29,977	30,328	30,301	29,930
(A) - (B)	将来負担比率の分子		6,828	6,098	5,097	3,136	1,953

分析欄

平成26年度は、一般会計等に係る地方債現在高が前年度比で約6.4億円減となったこと、公営企業債残高が減となったこと、退職手当負担見込額が減となったこと、基金残高が増となったことが主な要因となり、19.8から12.4と7.4ポイント改善した。
 財政計画（平成23年度～27年度）において、5年間で地方債現在高を普通会計で43億円以上減少させることを目標としており、今後も財政の健全化に努めていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。